

御経塚遺跡-謎の遺物

おきょうづかいせきしゅつどひん なか じゅうようぶんかざい してい
御経塚遺跡出土品の中で重要文化財に指定されている
いぶつ み せっき
遺物を見ていくと、おもしろい石器があります。



ふしぎ かたち
不思議な形だけど、
なん つか
何に使われたんだろう？



ぎよぶつせっき 御物石器

かた とくちょうてき せっき うえ ぶぶん なめ
形が特徴的なこの石器は、上の部分がとくに滑らかです。
じょうもんじん て ちやくせつ かんが
縄文人が手で直接なでていたのではないかと考えられています。
なまえ ゆらい いしかわけんあなみずまちびら しゅつど おな かたち
名前の由来は、石川県穴水町比良から出土した、同じ形の
せっき めいじてんのうほくりくじゅんこう こうしつ
石器が、1877年(明治10年)明治天皇北陸巡幸のとき、皇室
けんじょう ぎよぶつ こうしつ しょうぶつ かたち つか
に献上され「御物(=皇室の所有物)」となったことから、形や使
かた なまえ
い方による名前ではありません。
ぎらい しょう い せっき なん
儀礼に使用されたとも言われるこの石器ですが、何のために、
つか わ
どのように使われていたかははっきりと分かってはいません。



となみししていはんかざい ぎよぶつせっき
砺波市指定文化財 御物石器

おな かたち
同じような形の
せきせいひん ぼくりく
石製品は北陸の
いろいろなところ
み
で見つかってい
るみたい



御経塚遺跡-地下に眠る謎



むかし たてもの ふくげん
昔の建物を復元した
たてもの た
建物が建っているけど、
これは発掘調査で
み つか
見つかったものをもと
にしているんだよね



おきょうづかいせき ふくげんいこう 御経塚遺跡の復元遺構について

ふくげんじゅうきよ まわ ふくげんいこう たし はくつちょうさ せい
復元住居や、その周りの復元遺構は、確かに発掘調査の成果
もと せいび
を基にして整備されました。しかしこれらの住居などは、実際に
いこう み ばしょ ふくげん
遺構が見つかった場所に復元したものではありません。これらは、
じっさい すこ きたがわ はっけん
実際にはもう少し北側で発見されたものになっています。
しょうさっしさんしょう
(小冊子参照)
そして現在復元遺構がつくられている史跡公園の中は、実は
はくつちょうさ まった おこな ばしょ
発掘調査が全く行われていない場所なのです。約40年前、遺跡
て じょうたい ほん かんが
を手つかずの状態と保存しようと考えたためです。そのため
げんざい ちか なに ねむ
現在、地下に何が眠っているのか、まったく分からない状態です。



いったい う
一体どんなものが埋まっているんだろうね